公益財団法人ブラッサム財団

2026 年度 青少年国際交流・人材育成プログラム

参加者募集要項

1. プログラムの趣旨

公益財団法人ブラッサム財団は、日本に居住する青少年が、海外での生活、学習及び地域交流を通じて、多様な文化、歴史、社会的背景及び価値観に触れ、相互理解を深めることを目的として、「青少年国際交流・人材育成プログラム」を実施します。

本プログラムは、単なる語学研修や海外旅行ではありません。

現地の学校での学習、現地青少年との対話、ホームステイ、地域交流、ボランティア活動等を通じて、参加者一人ひとりが、自分とは異なる背景を持つ人々を理解し、互いを尊重しながら協働する力を育てることを目指します。

また、参加者には、海外で得た経験や学びを自分だけのものとせず、帰国後に学校、家庭、地域社会等へ伝え、今後の行動につなげることを期待します。

---

2. プログラムの目的

本プログラムは、日本に居住する青少年が海外での学習・交流を通じて、多様な文化や価値観への理解を深め、異なる背景を持つ人々と協働し、将来、地域社会や国際社会で活躍する人材として成長することを目的とし、次のような資質を備えた人材の育成を目指す。

（1）多様性を尊重できる人

異なる文化や価値観を理解し、その違いを尊重しながら行動できる人。

（2）主体的に挑戦できる人

自ら課題を見つけ、考え、行動し、新たな挑戦を続けることができる人。

（3）協働できる人

異なる背景を持つ人々と対話を重ね、信頼関係を築きながら共通の目標に向かって協力できる人。

（4）社会に貢献できる人

学びや経験を自らの成長にとどめることなく、学校、地域社会、将来の職業生活などを通じて社会へ活かすことができる人。

（5）世界と地域をつなぐ人

国際的な視野を持ちながら地域社会とのつながりを大切にし、世界で得た学びを地域へ、地域で培った価値を世界へとつないでいける人。

3．2026 年度プログラムの特徴

（1）日本に居住する多様な青少年が共に参加します

本プログラムは、国籍や民族的背景を限定せず、日本に居住する青少年を対象とします。

参加者それぞれの家庭環境、文化的背景、ルーツ及び経験の違いを尊重し、それらを互いに共有すること自体を重要な学習の機会とします。

（2）アメリカの学校生活を体験します

現地の学校で学び、現地青少年との交流を体験します。学校施設の見学にとどまらず、現地の青少年と実際に対話し、共に活動する機会を重視します。

（3）ホームステイを通じて生活文化を学びます

原則として、一家庭につき参加者一名でホームステイを行う予定です。

ホストファミリーとの会話、食事及び日常生活を通じて、観光では知ることのできない現地の生活文化や価値観を体験します。

（4）地域社会との交流を行います

地域住民、教育関係者、NPO、ボランティア団体等との交流を通じて、地域社会の成り立ち、多様な人々が共に暮らすための取組及び地域課題について学びます。

（5）帰国後の行動につなげます

帰国後には成果報告書を作成し、成果報告会等において学びを発表していただきます。

また、現地で得た経験を今後どのような行動に生かすかを考え、帰国後のアクションプランを作成します。本財団では、修了後も修了生ネットワークを通じ、継続的な交流及び社会貢献活動への参加を期待しています。

4．プログラム概要

項目	内容
プログラム名	2026 年度 青少年国際交流・人材育成プログラム
渡航先	アメリカ合衆国・ワシントン州シアトル市周辺
実施時期	2027 年 3 月下旬から 4 月上旬まで
研修期間	10 日間から 14 日間程度

項目	内容
募集人数	6名以内
滞在方法	ホームステイを中心とする予定
現地運営協力	Global Education Networkほか
使用言語	主として英語
主催	公益財団法人ブラッサム財団

※日程、訪問地域、活動内容及び滞在方法は、現地受入機関との調整、安全上の事情その他やむを得ない事情により変更する場合があります。

---

5. 主な研修内容

現地の状況及び受入機関との調整により、次の活動を組み合わせて実施する予定です。

(1) 現地学校訪問

- 現地の中学校又は高等学校を訪問し、授業や学校生活を体験します。
- 現地生徒との対話、グループ活動及び昼食交流等を通じて、互いの学校生活、進路、文化及び価値観について学び合います。
- 自らの文化的背景や生活経験を紹介し、現地生徒と共同活動又は発表に取り組みます。

※イースターホリデー等により学校訪問ができない日を除き、可能な限り学校交流を組み込む予定です。

(2) ホームステイ

ホストファミリーの一員として生活を共にし、食事や会話、地域での日常生活を通じて、現地の文化、習慣及び価値観への理解を深めます。

(3) 地域交流

□　地域住民との交流や、行政、文化、教育及び公共施設等への訪問を通じて、地域社会への理解を深めます。
□　地域の歴史や社会課題について学ぶとともに、多様な文化的背景を持つ住民との対話を通じて、多文化共生について考えます。

(4) ボランティア活動

□　例えばフードバンク等、福祉施設、地域団体等におけるボランティア活動を通じて、地域社会への貢献を体験します。

□　地域清掃や子ども・地域住民との交流活動への参加を通じて、社会貢献の意義や市民としての役割について学びます。

(5)　スポーツ及び文化交流

□　現地青少年とのスポーツや共同活動を通じて、互いを尊重し、協力し合う姿勢を育み、相互理解を促進します。日本及び参加者自身の文化的背景を紹介するとともに、音楽、食文化、芸術等を通じて互いの文化への理解を深めます。

（6）振り返り活動

滞在中は、日々の活動後に振り返りの時間を設けます。

参加者は、その日に学んだこと、印象に残ったこと、自分の考えが変化したこと、疑問に思ったこと及び翌日に挑戦したいこと等を記録し、参加者間で共有します。

（7）最終発表

研修の終盤には、参加者が現地での経験を整理し、学んだこと及び帰国後に実践したいことを発表する予定です。

6．募集対象

本プログラムの募集対象は、**日本に居住する青少年**とします。

国籍、民族的背景、本人又は家族のルーツ、使用言語及び海外渡航経験の有無は問いません。

ただし、2026 年度はアメリカ合衆国でプログラムを実施するため、渡航に必要な要件を満たすことが必要です。

7．応募資格

応募者は、次のすべての条件を満たす必要があります。

1. 日本国内に居住していること
2. 渡航時に原則として 15 歳以上 17 歳以下であること
3. 高等学校、高等専修学校その他これらに準ずる教育機関に在籍し、又は入学を予定していること
4. 本プログラムの趣旨及び目的を理解し、積極的に参加する意思があること
5. 国籍、民族的背景、文化、言語その他の違いを尊重し、多様な参加者及び現地の人々と協力して活動できること
6. 事前研修、海外研修及び帰国後の成果報告等を含む日程に参加できること
7. ホームステイ及び団体行動に適応しようとする意思があること
8. 心身の状況、疾病、アレルギーその他安全管理上必要な情報を正確に申告できること
9. 保護者の同意が得られること
10. 本財団、現地受入機関、引率者及びホストファミリーの合理的な指示を守ることができること
11. 有効な旅券を保有していること、又は財団が指定する期限までに取得できる見込みがあること

12. ESTA、査証その他必要な手続により、アメリカ合衆国への渡航及び入国に必要な要件を満たすこと、又は財団が指定する期限までに満たすことができる見込みがあること
13. 日本への再入国を含め、研修の全行程に必要な出入国手続を行うことができること

---

8. アメリカへの渡航資格について

本年度はアメリカ合衆国でプログラムを実施するため、参加者は、本人の国籍、旅券、在留資格及び過去の渡航歴等に応じて、ESTA、査証その他必要な渡航手続を行う必要があります。

渡航に必要な ESTA 又は査証を取得できる見込みがあること選考及び参加可否を判断する際の重要な確認事項の一つとなります。

ただし、ESTA を利用できないことのみをもって、直ちに応募資格がないものとはしません。ESTA を利用できない場合であっても、研修日程に支障のない時期までに適切な査証等を取得し、安全かつ確実に渡航できる見込みがある場合には、個別に確認します。

なお、ESTA 又は査証の申請及び承認には一定の期間を要する場合があり、その取得が保証されるものではありません。また、承認された ESTA や有効な査証を保有していても、米国への最終的な入国許可は入国時に米国当局が判断します。

応募者又は保護者は、旅券、国籍、在留資格、ESTA 又は査証の取得可能性について不明な点がある場合、応募前に財団事務局へ相談してください。

---

9. 英語力について

応募時点で、英語に関する資格又は一定以上の成績は求めません。

ただし、現地での授業、ホームステイ及び交流活動は、主として英語で行われます。

そのため、英語が得意であることよりも、次の姿勢を重視します。

- 分からないことを尋ねようとする姿勢
- 相手の話を理解しようとする姿勢
- 間違いを恐れず、自分の考えを伝えようとする姿勢
- 渡航まで継続して学習及び準備に取り組む意欲

本プログラムでは、英語の正確さよりも、相手を理解し、自分の考えを伝えようとする姿勢を重視します。参加決定後は、事前研修及び自主学習を通じて、現地交流に必要な準備に取り組んでいただきます。

---

10. 事前研修及び帰国後活動

本プログラムは、海外滞在期間のみで完結するものではありません。

事前研修

次の内容を予定しています。

- 参加者同士の相互理解
- ブラッサム財団及び本事業の目的
- 日本社会の文化的多様性
- 多文化共生についての学習
- アメリカ社会及び訪問地域についての学習
- 異文化コミュニケーション
- ホームステイにおけるマナー
- 健康管理及び危機管理
- 日本及び自分自身の背景を説明するための準備
- 現地での発表及び交流活動の準備

帰国後活動

- 成果報告書の提出
- 成果報告会への参加
- 参加者アンケートへの回答
- 学校、家庭又は地域における成果共有
- 帰国後アクションプランの作成及び実践
- 財団が行うフォローアップ活動への協力

---

11. 費用及び財団による支援

本プログラムは、公益財団法人ブラッサム財団の国際交流・人材育成支援事業として実施します。

選考により参加が決定した者に対し、返済を要しない参加費用の支援を行います。

財団が負担する予定の費用

- 日本と渡航先との往復航空運賃
- 現地研修プログラム費
- ホームステイ費用
- 現地受入機関に支払う費用
- 海外旅行保険料
- 団体行動中の現地交通費
- 交流活動及び研修活動に必要な費用

参加者の自己負担となる予定の費用

- 旅券取得費用
- ESTA、査証その他出入国手続に必要な費用

- 自宅から日本国内の指定集合・解散場所までの往復交通費
- 規定を超える手荷物料金
- 個人的な飲食費
- 土産代及び小遣い
- 個人的な通信費
- 個人の事情により発生する費用
- 本財団が事前に自己負担と定めた費用

※費用負担の範囲は、現地プログラム及び航空券等の手配内容が確定した後に、参加決定者へ通知します。

---

12. 応募書類

1. 応募申請書
2. 志望理由書
3. 保護者同意書
4. 参加者誓約書
5. 推薦書〔財団が必要と定めた場合〕
6. 旅券及び渡航資格に関する確認書
7. その他、本財団が必要と認める書類

志望理由書

次の内容を含め、全体で 1,000〜1,500 字程度を目安として作成してください。

① なぜ応募したのか（応募動機）

② あなたはどんな人か（これまでの経験・価値観・異文化経験を自由に）

③ この経験を未来にどう生かしたいか（現地で学びたいこと＋帰国後に実践したいこと）

応募者自身の経験及び考えを率直に記載してください。特定の国籍、ルーツ又は海外経験を有することが有利又は不利になるものではありません。

---

13. 選考方法

選考は、書類審査及び面接審査により行います。

英語力、学校の成績、国籍、民族的背景又は海外渡航経験のみをもって判断することはありません。

応募資格を満たした方について、次の事項を総合的に評価します。

1. プログラムへの理解と参加意欲
2. 人物面及び将来性

3. 協働性及び社会貢献への姿勢
4. 研修を最後までやり遂げる適性

面接について

面接では、完成された答えや流暢な英語を求めるものではありません。

応募者本人が、なぜ参加したいのか、何を学びたいのか、異なる背景を持つ人とどのように関わりたいか、困難な場面でどのように行動しようと考えているかを、自分の言葉で説明できることを重視します。

---

14. 選考スケジュール

項目	時期
募集開始	2026 年 11 月 15 日〔予定〕
応募締切	2026 年 12 月 25 日 17 時〔予定〕
書類審査	2027 年 1 月中旬
面接審査	2027 年 1 月下旬〔予定〕
選考結果通知	2027 年 2 月上旬〔予定〕
参加意思確認	選考結果通知後、指定日まで
渡航資格確認	参加意思確認後、速やかに実施
事前研修	2027 年 2 月下旬以降、複数回実施予定
渡航	2027 年 3 月下旬から 4 月上旬
成果報告	帰国後 1 か月以内を目安

---

15. 参加決定後の手続

参加決定者には、次の書類の提出及び手続を求めます。

- 参加承諾書兼海外渡航・危機管理同意書
- 健康状態及びアレルギー等に関する申告書
- 旅券情報
- ESTA 又は査証等の申請・承認状況
- 日本における在留資格及び再入国手続に関する情報〔該当者のみ〕
- 緊急連絡先
- 海外旅行保険加入に必要な情報
- 現地受入家庭への紹介資料
- その他、渡航及び研修に必要な書類

参加決定後であっても、財団が指定する期限までに必要な渡航手続を完了できず、プログラムへの安全かつ確実な参加が困難と判断される場合は、参加決定を取り消すことがあります。

ブラッサム財団が求める参加者

私たちは、英語が得意な人ではなく、世界を知ろうとする人を求めています。海外経験が豊富な人ではなく、新しい価値観に出会ったときに素直に学べる人を求めています。私たちは、この経験を自分自身の成長にとどめることなく、学校、家庭、地域社会へと還元し、新たな一歩を踏み出す人を応援します。

リーダーとは、人を引っ張る人だけではありません。互いを理解し、対話し、協力しながら新しい価値を生み出せる人もまた、リーダーです。ブラッサム財団は、このプログラムを通じて、そのような未来のリーダーを育成したいと考えています。